

「体感すまいパーク越谷」がオープン

ポラスグループ オープン3日間で144組来場

4カ所目の単独展示場、今後も設置を計画

ポラスグループは1月3日、埼玉県越谷市に同グループ単独の展示場「体感すまいパーク越谷」をオープンした。

同グループとして4カ所目の単独展示場で、いずれも成果を上げている。同グループは単独展示場を積極的に展開する考えで、今後1年半の間に埼玉県西部地域にオープンする計画である。

オープン1月3日、4日、5日の3日間で144組の見学者が来場している。来場者の大半が越谷市に居住の家族である。

3日間の来場者数の比較では「体感すまいパーク浦和」の1.4倍となっている。

「体感すまいパーク越谷」では年間120棟の受注を目指すとしている。4つのモデルハウスのうち3つのモデルハウスで宿泊体験が可能。単独

展示場における宿泊体験は初めてである。オープン前に社員が宿泊体験を行ったが、「快適なために自宅に帰りたい」という感想があったという。

同グループの単独展示場が成果を上げている最大の要因は、同グループが複数の異なるコンセプトの住宅を手掛けているからである。

「体感すまいパーク越谷」では、最新モデルハウス4棟に加えて、センター棟には土地探しや不動産に関する相談もワンストップで対応する宅地建物課が設置されている。この宅地建物課の設置も現状の住宅市場では一次取得者が多くを占めていることから、力を発揮すると思われる。同グループでは評価の高い戸建分譲住宅を積極的に展開していることから、それを紹介することに繋がる

可能性も高い。単独の展示場「体感すまいパーク越谷」の最大の特徴は、前述のように4つのモデルハウスのコンセプトが異なっていることである。

「H a s c a s a (ハスカサ)」「和美庵(ハスカーサ)」「和美庵(ARZILL)」「北辰工務店(アルジール)」「北辰工務店」という4つのブランドのモデルハウスが展開している。いずれも2階建てである。

順に見学すると、「H a s c a s a」は2×6工法による住宅で気密性・断熱性が特に優れており、玄関から入ると大きな吹き抜け空間がある。見学したのは1月の寒い日だったが、2階のエアコン1台を使っているだけでも室内は十分暖かかった。

次いで入ったのは「和美庵」で、「H a s c a s a」とは異なりふんだんに木を採用している和風の室内で、落ち着いた感じがする。「ARZILL」は、和風の「和美庵」を比べると、モダン感が引き立つ住まいで、若い層に評価されそう。

「北辰工務店」は前記の3つの住宅と比べるのと、さらにリースナブルを追求した住まいで求めやすい。全てが自由設計だから顧客の要望には自由に対応できる。

4つのモデルハウスを見学すると、それぞれ異なっていることから、自らの家族が適した住まいが決めやすい。

価格は、自由設計のためそれぞれ異なっている。自分の予算に適したタイプが選択しやすい。

営業担当によると、一般的にみると次のような価格帯が多いようだが、いずれも自由設計だから幅がありそう。

「和美庵」が一般的に坪当たり70万円〜80万円程度、続いて「ARZILL」が60万円〜65万円、「H a s c a s a」が60万円程度、「北辰工務店」が50万円程度。



「体感すまいパーク越谷」外観パース